



一般社団法人

JWMTO トピックス

Vol. 11

2017年10月13日発行

ヒトの未来を支えあうチカラ

1. 事務局からお知らせ
2. 活動報告
3. 会員だより
4. スポンサー様より

1

事務局からお知らせ

今年度の車両購入補助金の申請は、補正も含め無事に提出終了し、JWMTO とりまとめ分の申請に関しては、すべて審査を通過致しました。致しご協力いただいた団体様に御礼申し上げます。今年度は新 UD タクシー発売開始の影響で申請数が飛躍的に増加し、全国で約 5,000 台分の申請が出たとのことでした。

二葉計器株式会社様の新タクシーメーターは、プリントするレシートの仕様に関して事業者様より若干の変更要望があり、商品に反映していただきました。8月21日以降の注文分から新仕様のレシートがプリントされる仕組みとなっております。

東京運輸支局管轄における車両購入補助金の協議会開催方法について協議を重ねてまいりましたが、来年度より、協議会の開催主体は、(一社)東京ハイヤー・タクシー協会、東京都個人タクシー協同組合、JWMTO が持ち回りで担当する見込みです。

2

活動報告

介護福祉タクシーの勉強会

前号でお知らせした通り、8月10日に千葉県の民進党県議会議員の皆さまを対象に「介護福祉タクシーに関する勉強会」を行いました。勉強会の講師は東谷事務局長が務めました。

介護福祉タクシーの基礎知識、UD タクシーの基礎知識、また、実際の車両用スロープを用意して、車椅子利用のお客様が車両への乗降を行う実演を行い、どんな場合がお客様の障壁になるかの説明も行いました。

また、福祉車両の潜在的なニーズに関する問題、今後、深刻な事業者不足が懸念される事も合わせて説明を致しました。議員の皆さま方からは大変ご好評をいただき、今後、国会議員や各地方での勉強会を開催する為の大きなステップとなりました。

介護・福祉事業者の車両運行に対する注意喚起

一部の介護・福祉事業者の中で道路運送法第78条及び第79条（福祉有償運送）に定められた範囲を超えて利用者の送迎を実施している実態が見られます。いわゆる「白タク行為」ですが、JWMTOとしては、上記の事業者が重大事故を起こし、人命に関わる自体が起こる事を大きく懸念しております。その為、国土交通省自動車交通局に対して現状の実態調査並びに違反者取締まりの要望を出す事ができないか検討を始めました。介護福祉輸送の全体を俯瞰し、その安全性を高める活動も JWMTO の使命と考え、活動を続けてまいります。

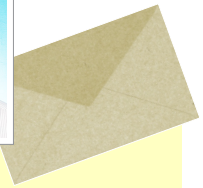
JWMTO への個人会員の獲得施策を毎月の理事会にて引き続き検討しております。

外部事業者との連携以外に会費相当のインセンティブを付与できないか検討しています。AED の提供、IP 無線の提供、スキマ保険の無料付与、資機材の安価提供、ホームページやパンフレットの安価製作、事業者用に特化したクレジットカードの入会資格等のアイデアが出ています。引き続き、検討を続けます。



会員だより

今回は「オレンジ介護タクシーグループ」の代表、川本賢二様よりご投稿をいただきました。



『ご挨拶』

JWMTO 会員の皆様、スポンサー様におかれましては、日頃よりご尽力を賜り感謝申し上げます。この度は、「オレンジ介護タクシーグループ」の、ご紹介の場を頂きました。

【発足】平成 22 年 7 月 1 日

【車両台数】車両台数 20 台で結成し、現在は 19 社 34 台と徐々にありますが、広島県広範囲に広がっています。

介護を必要とされる方、体に障がいをお持ちの方の移動手段として「真心を込めて、安全、安心、迅速」をモットー【グループ理念】にサービス提供し社会に貢献すると共に、グループの発展とグループ員一人ひとりの幸せを築きます。

・グループ LINE を駆使し、配車調整、交通情報、各病院／各施設の不安を感じる停車方法等の情報を随時発信し【グループ活動】ています。

・隔月定例会を行い、勉強会、意見交換等で知識・技術の向上を図っています。

・新規メンバー起業の際、独自の研修制度を利用し即戦力を目指しています。

・消防署の患者等輸送乗務員講習会を積極的に受講しています。 etc.

これからも、利用者さまが一番喜んで頂けるようグループ員一丸となって努めてまいります。最後に、JWMTO の益々のご発展と会員皆様方のご活躍を祈念いたします。

オレンジ介護タクシーグループ



団体名・代表者 オレンジ介護タクシーグループ・代表 川本賢二
本部所在地 広島県広島市西区南観音 7-13-26
電話番号 082-297-7820
公式サイト <http://www.h-orange.com/blog/>



介護現場に すぐに役立つ IP 無線



SoftBank 301SJ

1. IP 無線とは？

「ソフトバンク 3G 回線を使用した業務用携帯型トランシーバです。

ソフトバンク 3G サービス内では日本全国で通話が可能、GPS 機能搭載で位置情報・状態の確認が可能です。通話モードは一斉（1:N）、グループ、個別（1:1）などがあり、無線特有の同報性、即時性で重要な情報が即時に伝達出来ます。

*詳細は → <http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/201sj/>



2. ご利用シーン



車両を複数台ご使用の事業者様での業務連絡(出発・完了、緊急時等)。携帯電話と違い一斉通話にて即時に情報共有が可能です。

3. 導入メリット

事業者間で業務の状況が確認・共有でき、お客様からのお問い合わせ等に直ぐに回答でき、お客様からの信頼向上、配車回数の増加など業務の効率化が期待できます。



東京

TEL 03-5777-3974 FAX 03-3434-8117
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー12F

大阪

TEL 06-4797-7610 FAX 06-4797-7635
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-6 東洋紡ビル4F

公式サイト

<http://www.seiryodenki.co.jp/>





発行元

一般社団法人 日本福祉医療輸送機構 JWMTO

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-6-9 ジュネシオン竜泉101

発行責任者：理事長 関澤俊夫

TEL：03-5849-4199 FAX：03-5849-4210

公式サイト：<http://www.jwmto.or.jp/>

